

## 2021 年度 自己評価結果公表シート

学校法人 京新学園  
太秦幼稚園

### 1. 本園の教育目標

<p>「知」・「徳」・「体」・「食」のバランスのとれた保育を教育方針とし、幼児教育を行っている。</p> <p>「知」・・・知恵、考える力を育てる</p> <p>「徳」・・・善悪の判断を自分でできる子どもに育てる</p> <p>「体」・・・健康な体に育て、十分な体力をつけさせる</p> <p>「食」・・・食に関心をもち、感謝する心を育てる</p> <p>この精神を基にして、先生や友達と一緒に幼児期に必要な経験を積むことで、人との信頼関係やコミュニケーション能力を育て、意地悪をしない正しい心、人を許せるやさしい心、嘘をつかない強い心、謝ることのできる素直な心を持った心豊かな子どもの育成を目指している。</p>
---

### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

<p>教育目標の具現化を図るため、教職員どうしの意見交換の場を設け、教育の質を高めるとともに、本園の中・長期のビジョンに沿った運営を図る。</p>
---

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 保育の質の向上	<p>①運動会や発表会の当日だけでなく、予行や普段の保育にもビデオ撮影を取り入れたことで、子どもの様子や自分の保育を振り返りやすくなり、指導の改善に繋がった。</p> <p>②全体会議を行う前に学年会議をすることで、経験の浅い保育者でも自分の意見を言いやすくなり幅広い視野で意見交換することができている。</p>
2. 子育て支援の環境づくり	<p>① 入園前の保護者に対して、入園にあたっての説明を YouTube で動画配信したことで、新型コロナウイルス感染への不安がある中で外出を控えることが出来、何度も見返して頂くことで安心して準備をしてもらえた。</p> <p>②未就園児保育（以下、ことりキッズ）やプレクラスでも朝の会やカリキュラムを取り入れることで、椅子に座る習慣が出来、入園後もことりキッズで同じピアノ合図や声掛けをしていくことで安心して取り組む姿が見られた。</p> <p>③臨床心理士の定期的訪問に加えて、保育現場で生かせるアドバイスをもらい実践に繋がったり、園内研修の充実を図ることができた。</p>
3. 異年齢児との交流など	<p>①朝の支度を終えた後の園庭での自由遊びや、降園時の園庭あそびでは自然と異年齢児の交流が出来ている。</p> <p>②作品展を通して、大型作品や壁面画など縦割りのグループで関わったり、分担して取り組める機会が持てた。</p>
4. 危機管理 ・安全管理	<p>① 新型コロナウイルス感染への感染対策は前年度より引き続き行うなど子どもたちが安心して過ごせる環境を整備した。日々の石鹸での手洗いやうがい、マスクの着用など子どもたちが生活習慣として身に付くよう指導した。全体で行う集いでも、分散を意識して学年毎で行なったり、クラス単位でも行えた。</p> <p>② 園独自の安全マニュアル「ヒヤリハット」を年度初めや遊具使用時に改善</p>

	<p>が必要だと判断した際には都度会議を行い、改善を図って環境整備を行えた。遊具の点検も業者が行ったり、定期的にバス職員が点検する等遊具への安全管理を行えた。</p> <p>③ 自然に起こる災害に対して身の安全を守る意識を防災学習を通して知る機会や再認識することができた。地震や火事、津波や雷など自然現象が巻き起こす災害をプロジェクターで見たりすることで怖さを知り、命を守るにはどうすべきかを学べた。年間3回避難訓練実施。</p> <p>④ プール入水時の避難のしかたも職員間で共有し、実際に入水している時に子どもへも避難の仕方について知らせている。</p>
--	---

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年毎の会議や反省会を充実させ、経験の浅い保育者も意見しやすい環境を目指している。また、指導力をあげるため動画を撮って指導改善に繋げるなど、よりよい保育が出来るように心掛けた。</li> </ul>
---

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
1. 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染のため、研修先が減ったことやオンラインになったことで様々な情報交換の場が少なくなっていた。園内研修の充実を図る為、学びたいことや知りたいことを話し合い行っていきたい。</li> </ul>
2. 異年齢児との交流など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育での交流が普段の園庭遊びやクラス遊びでも生かされ、広がっていくように工夫する。</li> <li>・作品展の作品作りでの異年齢交流では引き続き、思いやる優しい心を育てたり、頼られる嬉しさを感じられるようなカリキュラムを立てていく。</li> </ul>
3. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外に行った際、安全に引率するための方法やポイントを見直す。</li> </ul>
4. 子育て支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児保育を希望する声が増えているので、希望に添えるよう考える。</li> <li>・ことりキッズやプレクラス利用の方へも臨床心理士の充実や子育て相談を多く利用してもらうようにする。</li> </ul>

#### 6. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスが終息していない中で、先生方が感染拡大防止の為に消毒や換気等を行う事は大変であるかと思いますが、しっかり対応してくださり、子どもたち保護者も安心して幼稚園生活を送れていると思います。</li> <li>・日々の生活に加えて様々な行事を通して学び成長していく子どもたち。コロナ禍の中、工夫を凝らし様々な行事に取り組みせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。</li> <li>・真夏のマスク着用と感染拡大、難しい判断を迫られる中、懸命に対応して下さいました。</li> </ul>
---